

ISP&クラウド事業者の集い in 金沢

(第 39 回 ISP&クラウド事業者の集い in 金沢)

日時：2013 年 11 月 7 日 (木) 13:30~18:30/11 月 8 日 (金) 10:00~18:30

場所：TKP 金沢ビジネスセンター 7A

<http://www.kashikaigishitsu.net/search-rooms/access?id=154>

主催：一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会

地域 I S P 部会&クラウド部会

後援：金沢市

参加者：11 月 7 日 (木) 88 名 11 月 8 日 (金) 111 名

スケジュール：

■11 月 7 日 (木)

13:00~ 開場

13:20~13:30 挨拶 地域 ISP 部会 部会長 晋山孝善氏

13:30~14:30 クラウドサービスとオンプレミスストレージの連携

株式会社 アイ・オー・データ機器 今川雅裕氏

14:30~15:30 テレビのネット接続による放送通信融合サービスの展望について

北陸電話工事株式会社 情報システム本部 水野正人氏

15:30~16:30 クラウドホスティング事業者との連絡体制の構築及び今後の展開

JPCERT/CC (JPCERT コーディネーションセンター)

JPCERT/CC インシデントレスポンスグループ 小林裕士氏

16:30~16:45 休憩

16:45~18:35 違法有害関係

山崎法律事務所 弁護士 長瀬貴志氏

(一社) 日本インターネットプロバイダー協会 副会長 立石聡明氏

(一社) インターネットコンテンツセキュリティ協会 事務局長 吉田奨氏

19:00~ 懇親会 (意見交換会) ※参加費 4,000 円/人

■11 月 8 日 (金)

10:00~10:30 地方プロバイダーの現状

株式会社ネスク 技術グループ チーフ・マネージャー 松田清孝氏

10:30~11:50 ネット選挙関係

(1) 今回の選挙はどうだったのか

総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部

消費者行政課 課長補佐 関原秀行氏

(2) ネット選挙に対する JAIPA の取組み

クロストラスト株式会社 代表取締役 秋山卓司氏

(3) ネット選挙運動解禁に伴う電子メール環境への取組み

~「安心マーク」と「サイバー法人台帳 ROBINS」のご紹介 ~

一般財団法人日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC) 大泰司章氏

11:50~12:00 消費税表示ガイドラインについて

ニフティ株式会社 木村 孝氏 (JAIPA 会長補佐)

12:00～13:00 昼食

13:00～14:20 著作権

虎ノ門南法律事務所 弁護士 上沼紫野 氏

14:20～15:20 IPv6 関係

(1) IPv6 によるインターネットの利用高度化に関する研究会

「第二次プログレスレポート」

総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部

データ通信課 課長補佐 佐藤 司氏

(2) PPPoE-SWG 報告

PPPoE-SWG 事務局 近藤和弘氏, 上野敬之氏

15:20～15:30 「通信・放送事業者間の問題解決をサポート」

電気通信紛争処理委員会事務局 上席調査専門官 大谷雅昭氏

15:30～15:40 休憩

15:40～18:40 クラウドの今と次の 10 年

(1) クラウドサービスの作り方、使い方 (地域版)

ニッポンクラウドワーキンググループ 会長 小堀吉伸氏

(2) StarBED³ ～ クラウド・SDN 時代のテストベッド ～

独立行政法人情報通信研究機構 (NICT)

NICT 北陸 StarBED 技術センター センター長 博士 三輪 信介氏

(3) 休憩

(4) パネルディスカッション

モデレータ: 株式会社イプリオ 石田卓也氏

パネリスト: NICT 北陸 StarBED 技術センター 三輪 信介氏

ニッポンクラウドワーキンググループ 小堀吉伸氏

さくらインターネット株式会社 田中邦裕氏

株式会社グローバルネットコア 金子康行氏

株式会社ネットフォレスト 高橋佑至氏

19:00～ 懇親会 (意見交換会) ※参加費 4,000 円/人

■北陸 StarBED 技術センター 見学ツアー 【参加者: 14 名】

2013 年 11 月 7 日 (木) 10:00～12:00

- 北陸 StarBED 技術センター

<http://starbed.nict.go.jp/>

- 北陸先端科学技術大学院大学 スーパーコンピューター

<http://www.jaist.ac.jp/news/press/2013/cray-xc30.html>

StarBED は、石川県能美市に位置する独立行政法人情報通信研究機構(NICT)により構築・運用されている大規模エミュレーション基盤です。概要は下記ウェブサイトをご参照ください。1000 台以上の PC サーバからなる世界最大規模のエミュレーション基盤を備え、大規模・複雑なネットワークシステムの性能評価や、今回の集いの中でも取り上げられるクラウドサービスの開発・実験などに使われています。<http://starbed.nict.go.jp/>

■プログラム委員：ソニービジネスソリューション株式会社 宮内正久
株式会社イプリオ 石田卓也
ソフトバンクモバイル株式会社 安カ川幸司
クロストラスト株式会社 秋山卓司

■概要：

□11月7日（木）

この日のセミナーは午後から開始なのですが、午前中、北陸先端科学技術大学院大学 スーパーコンピューター、北陸 StarBED 技術センターの 2 か所の見学をさせていただきました。当日東京便でも参加できるように 10:00 に現地集合、午後セミナー開始には間に合うよう時間を設定しました。現地では今回のプログラム委員の石田氏、宮内氏がアテンドしてくださいました。残念ながら事務局はセミナー準備のため参加できませんでした。あまりこういう機会がないので、参加した方々はよかったですのではないのでしょうか。

午後から地元石川県から全国に向けて活躍している方々のお話です。株式会社 アイ・オー・データ機器と言ったらほとんどの方々をご存じだと思います。PC の周辺機器から家電、ネットワーク関連の機器メーカーです。システム営業部の今川雅裕氏にお話しいただきました。主に個人向けが多いようですが、今回ご紹介していただいたのは、法人向け「NAS (Network Attached Storage)」でサーバに比べて低価格、複数の HDD で RAID を構築できる機器です。NAS の状態をブラウザで管理したりと、現在の事業者の課題としている「今の環境で間に合っている」「何から始めればよいかわからない」「サーバは高価だし予算がない」「選任者がいないので管理しきれない」「データを会社の外には置きたくない」「利用・活用のイメージがわからない」ということが、解決できるそうです。物理的故障に対する備えということでも安心で、NAS とクラウドの連携についてもご説明いただきました。



次に「テレビのネット接続による放送通信融合サービスの展望について」として北陸電話工事株式会社 情報システム本部 水野正人氏です。データ放送をネットワークにつなるとどういうことが出来るか、そして現状と今後の展望をお話しいただきました。本業は社名の通り電話工事であり、NTT の局内工事や宅内工事などをやっているが情報システム本部にて平成 13 年に放送関係の一部システム



(テロップ連動)を開発したことで、平成 18 年にデータ放送送出・運用装置の開発と販売を開始 (BML) したそうです。双方向データ放送の活用と技術的なこと、通信利用コンテンツの課題をお話しいただきました。そもそもテレビに LAN 環境があるのにつないでいない人が多い、そのつないでいないのがどのくらいの割合なのかというのも現時点で把握しきれないのが現状なんだそうです。またコンテンツについても有用な情報があるローカル局が、お金がなくコンテンツが作れない現状もあるとのこと。

今後の展望としては、データ放送が開始されてから 10 年余り、これからが活用の場になるのではないかとのこと。双方向のコンテンツの充実が期待され、コンテンツ配信は放送局でのサーバ維持、メンテナンスが不要のクラウドへと、Hybridcast による一般のコンテンツ屋の参入が可能になる等、これからも期待が持てるとのこと。

次は、クラウドホスティング事業者との連絡体制の構築及び今後の展開として JPCERT/CC

(JPCERT コーディネーションセンター) インシデントレスポンスグループ 小林裕士氏にお話しいただきました。JPCERT/CC については、Web サイト <http://www.jpCERT.or.jp/> をご覧ください。皆様もご存じのとおり Web サイトの改ざんが多発している現在、その原因と事業者との連携、情報共有が重要になっています。そこで、現状をご説明いただきました。公開されていない対策や公開されていないノウハウの共有の場として活用すること、JPCERT/CC との円滑なインシデント



ト対応体制を築くことを目的に JPCERT/CC と JAIPA クラウド部会が 9 月より会議の場を設けて定期的開催、メーリングリストも開設しました。メーリングリストは登録者が見える形で運用、制限事項としては、セキュリティインシデント情報であり、かつ、各社の現実的な実行情報を扱う ML であるため、本 ML でのみ得た情報は公開不可としています。JPCERT/CC、各事業者からの情報提供等、検討の場も設けられるでしょう。ご興味のある方はぜひご参加ください。

休憩を挟んで、違法有害関係です。JAIPA のセミナーではこの部分は外せないものです。以前消費者行政課の課長補佐であった、現在、山崎法律事務所 弁護士である、長瀬貴志氏に「インターネット上の違法有害情報対策についてー特に児童ポルノ閲覧防止対策に児童ポルノサイトブロッキングに対してー」としてお話しいただきました。長瀬さんは当時消費者行政課にいらっしゃるときに担当していて、偶然にもその後金沢で弁護士になっていらっしゃったので、今回のご講演をお願いしました。プロバイダ責任制限法を含めたインターネット上の違法・有害情報対策の概要、なぜ児童ポルノだけブロッキングが許されるのかを詳しくご説明いただきました。次に JAIPA 副会長 立石聡明氏による、児童ポル



ノサイトブロッキングの導入に至るまでの経緯。(一社) インターネットコンテンツセーフティ協会 事務局長 吉田奨氏による、児童ポルノサイトブロッキングリスト作成団体の活動内容をお話しいただきました。どれもここ数年にわたり、会議が何回となく行われ、関係者が時間を費やしてきたことです。まだこの件は、時間が経過するごとに歪や問題も出てくると思います。今後も事業者としても携わっていくことも大事だと思います。

1 日目はこのセッションで終了です。この後は、懇親会で本日のセッションのこと、明日の 1 日に向けて、みんなでワイワイと絆を深めたところです。





□11月8日（金）



二日目の開催のトップバッターは「地方プロバイダーの現状」を株式会社ネスク 技術グループ チーフ・マネージャー 松田清孝氏にお話しいただきました。ネスクさんは地元ではかなり大きく事業をされているのだと思います。なんとか工夫をして活動しているといった感じで始まりました。ご多分に漏れず大手プロバイダーの進出にユーザーを取られているのはどこも同じ状況で、金沢、東京、大阪間のトライアングルでつなげ、ネットワークの構築も自社で解決、こと

によると、個人商店のように一人がサーバを構築し、その後のフォローまですべてやってしまうという。部門、部署関係なくすべてをやらなくてはならない状況になっている時、技術者のその部分を少しでも軽減しようとして工夫をしたこととお話しいただきました。一部アウトソーシングしても地域密着型は変わらず、顔を見られる相手として、今でも何かあったら駆けつける、そんなサポートもしていらっしゃいます。ご苦労と工夫を教えてくださいました。

次は、今年7月に初回を迎えたネット選挙関係の話題です。初めに選挙運動をインターネットで解禁されたらどうなるんだろうと、数か月にわたって、想像、検討をして大きなトラブルを待ち構えていたのだが、選挙が終わって「あれ？」って思った方々多かったですよ。「こういう風になったら、こうする。」みたいな、ずいぶん会議もしましたし、総務省消費者行政課ともやり取りしました。アンケートも。そこで、結局どうだったのか？こちら側では見えない部分も含めて（1）今回の選挙はどうだったのかとして総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 消費者行政課 課長補佐 関原秀行氏にお話しいただきました。もちろん、今回の選挙運動解禁の概要やプロバイダ責任制限法の絡みも含めて。その上で、参議院選挙期間中の問い合わせ状況、主な報道、プロバイダ等の対応もご紹介いただきました。次に（2）ネット選挙に対する JAIPA の取組みとして、クロストラスト株式会社 代表取締役 秋山卓司氏にお話しいただきました。そもそもなんでインターネットの選挙運動が禁止されていたのか。1996年10月にさかのぼっての説明でした。Web サイトは「文書図画」の位置づけで判断されていたようです。途中、議員立法についてのところは非公開でした。その後 JAIPA の活動の説明。「加盟各社及び一般利用者への啓発」「プロ責法ガイドライン改訂」「インターネット選挙運動の円滑な運用に関する WG の設置」の説明をしていただきました。中でも本人確認手順に関するものが「公的な」と言う記述があり、書面に関する手続きは今までどおりですが、期間が短縮されたため、選挙期間によっては短いので、文書で間に合わない場合がある。その場合、電子メールによる場合は適切な電子証明書としてあるが、適切な電子証明書って何なのか、証明書については証明書を発行する事業者により基準はまちまちであり、それが本人



だという確認ができない場合があります。そこで JAIPA では WG を作って現在最初からの検討を行っています。選挙関係最後のセッションです。(3) ネット選挙運動解禁に伴う電子メール環境への取り組み～「安心マーク」と「サイバー法人台帳 ROBINS」のご紹介 ～一般財団法人日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC) 大泰司章氏のお話です。ROBINS とは、企業が自社で掲載してここに置く、見る側は無料で見られるデータベースである。企業が申請したのを「確認者」が認証して掲載していくシステムになっている。7月から始まったので、データはまだそれほど集まっていなく、今後マイナンバーが出来れば、データベースも充実してくる。企業の検索や Web サイトの成りすまし対策にもなるそうです。そして選挙対策ですが、あらかじめメール送信者のドメインを登録、DKIM で証明、メールドメインが本物か ROBINS に飛ばす、それによって確認になる。と言ったスキームで、ヤフーとニフティ他 6 社にて取り組んだそうです。その結果については、この場限りの非公開でした。今後 JAIPA は JIPDEC やその他団体との連携でこのネット選挙運動の適正な運用ができるように WG にて検討をしていく予定です。

次は、「消費税表示ガイドラインについて」ニフティ株式会社 木村 孝氏 (JAIPA 会長補佐) です。前々日に判明したのですが、なんとパワポに音声を入れ、会場に来ないでこのセッションを行う。びっくりですよ！笑いは取れましたが。このガイドラインは JAIPA で WG を立ち上げ、ガイドラインを改定したので、そのご報告です。

お昼休憩を挟んで、なのですが、時間もだいぶ押しているのに 12:00 からというお昼時、みなさんなかなかお戻りにならず、15 分ほど遅れての開始でした。運営側の不手際で申し訳ございませんでした。お昼から帰って、即、ご登壇いただいた虎ノ門南法律事務所 弁護士 上沼紫野 氏です。著作権関係



ですが、先日 6 月に行われた宮古島での講演でスカイプを使ったのですが、ネットワーク環境が良くなく、どうしてももう一度お聞きしたいとの熱いリクエストにお応えしたセッションです。著作権法は「知的財産法」→「文化的創作保護」→「著作権法」の流れになる。著作権法の歴史から構造、現在でいうとほとんどの物が著作物の対象になることになってしまうので、情報をコントロールするようなことになってしまうのではないかと話題になっているそうです。さらに原則が保護される

ので、自由に使われることがなくなってくるから始まり、「そんなことが・・・」というとても勉強になるお話でした。具体例も多く、笑いが絶えないセッションでした。また次回機会があったら違う方向でもお話もしていただけそうなので、お願いできたらと思います。

次は、「IPv6 関係」(1) IPv6 によるインターネットの利用高度化に関する研究会「第二次プログ



スレポート」として、総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 データ通信課 課長補佐 佐藤 司氏です。IPv6 についても JAIPA のセミナーには欠かせないものです。IPv6 の普及・進展状況から、IPv6 対応の利用拡大に向けた取組の最新動向、利用拡大の加速化に向けた取組、インターネット利用環境の変化に伴う情報セキュリティ対応推進事業、IPv4 アドレスの枯渇に伴う諸課題への対応推進事業をお話いただきました。そのあと、(2) PPPoE-SWG 報告として、事務局をし

ている近藤和弘氏に検討した内容と現在の状況をご報告いただきました。

次は、毎回セミナーには参加して活動を告知されている「通信・放送事業者間の問題解決をサポート」として電気通信紛争処理委員会事務局 上席調査専門官 大谷雅昭氏です。事業者間の問題解決のため

の組織ですので、何かありましたら、ご連絡をとのこです。



さて、休憩を挟んで、「クラウドの今と次の10年」(1)クラウドサービスの作り方、使い方(地域版)として、ニッポンクラウドワーキンググループ 会長 小堀吉伸氏、(2)StarBED[®] ~ クラウド・SDN時代のテストベッド ~として、独立行政法人情報通信研究機構(NICT) NICT 北陸StarBED 技術センター センター長 博士 三輪 信介氏に40分ずつお話しいただいた後にお二人を入れて、モデレータ:株式会社イプリオ 石田卓也氏による(4)パネルディスカッションです。その他パネリストはさくらインターネット株式会社 田中邦裕氏、株式会社グローバルネットコア 金子康行氏、株式会社ネットフォレスト 高橋佑至氏です。クラウド部会、地域ISP部会からバランスよくご登壇。残念ながらここだけの話となるので、USTも無かったので、内容については控えますが、さくらインターネットの田中氏のぶっちゃけトークな感じがとてもよく、場内を笑いに包み楽しませてくださる。いつもの田中さんでした。このパネルディ



スカッションをまとめたモデレータも大変だったと思います。均等に皆さんの意見が聞けて良かったのではないのでしょうか?



すべてのセッションが終了し、懇親会へと流れていきました。毎回一日半の長いといえば長い、あっという間だといえばあっという間ですが、今回、早めのプログラム確定、告知とプログラム委員の方々にはとてもお世話になりました。プログラム委員会を開始したのが8月末、遅くまで打ち合わせをしたり、FaceBookでグループを作ったのやり取り、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。また、参加いただいた方々、参加できない方々も次回もぜひ「ISPの集い」をよろしく願いいたします。(M)

アンケート結果はこちらです。

http://www.jaipa.or.jp/event/isp_mtg/kanazawa/131107_08_an.pdf